令和五年度学校文集【令和六年二月その一】

ひらやま 十四号

【第十一回高森文夫を偲ぶ詩大会】

《二席》私の人生

六年一組　布井　沙和

この世界に生まれて今まで
十二年　生まれて初めて　誕生日
一才　友だちできたよ　幼稚園
三才　とうとう始まる　学校生活
六才　これから何があるのかな
八才　コロナで減った　イベント
十一才　復活し始めた　運動会
十二才　今年で終わる　小学生活
この先の道は見えないけれど
何があっても私の人生
これからのことは自分で選ぶ
心の声を大切にして
自分の人生　歩んでいこう

《佳作》命をつないで

六年一組　永溝　奏

生きていくために
草をバッタが食べる
バッタをカエルやトカゲが食べる
カエルやトカゲをモズが食べる
モズをワシが食べる
どんどんつながる
命のリレー
私は、母と父からうまれた
母と父は、おじいちゃん、おばあちゃんからうまれた
おじいちゃんは、おばあちゃんは、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんからうまれた
つづいている
命のリレー

反省をわすれず

四年三組　小野　煌來

２学期にがんばったこと、２学期の反省、３学期にがんばりたいことを書きます。
まずは、２学期にがんばったことです。あきらめずに問題をといたことと、なわとびで前とびの今までの記録を少しこえたことです。
次に、２学期の反省です。発表があまりできなかったことと、みんなの前でいる時にちゅういできなかったことです。
最後に、３学期にがんばりたいことです。３学期に発表を少しずつでもできるようになって、みんなのさわいでいたら、「しずかにしてー」と、声をかけられるようになりたいです。
この反省をわすれずに、３学期がんばっていきたいです。

【宮崎日日新聞『若い目』令和六年一月八日】

ねこをたすけたぼく

四年三組　畑田　徠也

友だちのねこが木の上にのぼったどうするどうする
あっそうだぼくが木にのぼろういそげいそげ
いてっ木のさきに手が当たったがまんがまん

ねこをたすけることにせいこうだよかったよかった

【宮日こども新聞学園詩壇】令和六年一月十三日

えきでんを見に

一年三組　山本　柚南

日よう日に、ひょっとこえきでんを見にいきました。
「がんばれー」といったら、「ありがとう」といってくれたり、ハイタッチをされたりして、うれしかったです。
「がんばれ」とおうえんしたら、はしっている人がスピードを出して、はやくはしってくれたこともうれしかったです。

【宮崎日日新聞『若い目』令和六年一月十三日】

なわとびできたよ

一年三組　黒木　麗羽

きょう、あやとびができるようになったよ。二じゅうとびや、こうさとびもできるようになったよ。
なぜできるようになったかというとね、ともだちとか、おかあさんにおしえてもらったからだよ。
もっともっとできるようにがんばりたいな。

【夕刊デイリー『光の子』令和六年一月十八日】

赤ちゃんとあそんだよ

一年三組　新名　翔

ぼくはきょう、赤ちゃんとあそびました。赤ちゃんの名まえは、さきちゃんです。
さきちゃんは、ぼくのゆびをじいっと見ていました。ぼくの手をつかんでゆいかみまでした。あそんでいるうちに、小さなお口にムニュムニュしてました。
これからも、さきちゃんといっしょにあそびたいです。

【夕刊デイリー『光の子』令和六年一月十八日】

たこやき

二年一組　黒木　愛唯

きょうは、家ぞくでたこやきをしました。
たこやきの中に入れたのは、ウインナー、コーン、キムチとこんにゃくです。
「今かいは、たこなしだね。」と、みんなでわらいました。
おいしく、楽しく、できたので、またみんなでやってみたいです。

【夕刊デイリー『光の子』令和六年一月十八日】

一年三組
中西　勇芯

一年三組
銀山　蒼佑